

# 第20期（令和6年度）事業報告書

（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

主たる事務所の所在地	都城市吉尾町473番地の1
名称	一般社団法人霧島工業クラブ
代表者氏名	代表理事 堀之内 芳久

## 1 事業の経過及び成果

令和6年度は、主な活動方針を①地域連携テクノセンターの活用による地域活性化の推進 ②例会の充実 ③産学官の緊密なネットワークづくり ④組織の充実とし事業を行ないました。

①については、平成28年4月より中小企業庁宮崎県よろず支援拠点都城サテライトが都城高専地域連携テクノセンターへ入居され、相談業務を開始されていますが、当クラブの特別会員として在籍しておられるので、都城工業高等専門学校との共同研究も含め、様々な分野で連携して活動を行いました。

②については、以下の例会及び特別講演会を開催いたしました。

・令和6年6月度例会では、都城市長池田宜永様に、「結果が出る自治体経営」～都城フィロソフィを基軸として～という演題にてご講演いただき、参加者100名を超える特別講演会となりました。池田宜永様は、「全国市長会」にて「行政委員会委員長」に3年連続で選出され、都城市は全国トップクラスのふるさと納税を財源に移住者の呼び込みに力を入れた結果、昨年度の移住者が3700人あまりに上り、13年ぶりに人口が増加に転じました。また、道路行政では1994年に計画路線に指定された地域高規格道の都城志布志道（延長約44キロ）が2024年度内の全線開通し、更なる企業進出による地域活性化が期待されます。さらに、都城観光を支えてきた関之尾公園が4月末にリニューアル整備が完了し、国内大手アウトドア用品メーカーのスノーピークが指定管理者になるキャンプ施設などがオープンし、市内の観光客を16万人ほどから19万超えに押し上げる見込みです。一昨年開業した「道の駅」都城N i Q L L（ニクル）などとの連携で周遊性を高め、滞在型観光の拠点になることが期待されています。

・令和6年9月度例会では、都城市地域プロジェクトマネージャーの池田浩二様に「東日本大震災復興と都城のまちづくり」という演題にて、ご講演いただきました。池田浩二様は、都城工業高等専門学校建築学科をご卒業後、大手設計事務所に勤められ、公共施設・医療福祉施設、オフィスなどの設計を中心に行ってこられましたが、一級建築士、登録建築家、インテリアプランナー、認定登録 医業経営コンサルタント等の各種資格を有

されております。NTT ファシリティーズ在任中は、大阪・心ふれあうまちづくり賞をはじめ大阪府建築士会長賞、日経ニューオフィス賞、東北ニューオフィス推進賞、東北建築賞等数々の賞を受賞され、東日本大震災の復興事業やまちづくりの社会実験(民間ならではの発想力でにぎわいを創出、築 100 年近い赤レンガ倉庫を改修)などにも携わられ、令和6年9月より、都城市地域プロジェクトマネージャーに就任し、まちなかの空間を利用したイベントの開催やストリートファニチャーの作成、地元高校生等と共にまちづくり活動を行っておられます。このように、都城工業高等専門学校建築学科を卒業後、全国的に活躍された幅広い経験とキャリアを生かし、これまで培われたスキルとノウハウを生まれ育った地元に貢献されている実例を聞くまたとない機会となりました。

・令和6年12月度例会では、令和6年11月2日(土)に都城高専にて開催されました第4回都城高専地域交流・研究発表会において、霧島工業クラブ大賞、深山会大賞、文化祭研究発表優秀賞並びに優秀賞を受賞しました下記研究5テーマの表彰式を執り行いました。また、表彰式の後、霧島工業クラブ大賞・深山会大賞並びに文化祭研究発表優秀賞を受賞しました学生による特別講演会を開催しました。

#### 【第4回都城高専地域交流・研究発表会の表彰式】

##### (1) 霧島工業クラブ大賞

『電動アシストシルバーカー』 機械工学科4年

##### (2) 深山会大賞

『建築PBLによる地域創生への実践的取り組み』 建築学科5年 鈴木花恵氏

##### (3) 文化祭研究発表優秀賞

『高専作り替えてみた』 建築学科4年

##### (4) 優秀賞

『ひずみゲージを用いた飴肥スキ早材部の弾性率評価に関する研究』

機械電気工学専攻1年 木之下巧氏

『ピーマン自動選別のための小型探傷装置の開発に関する研究』

機械電気工学専攻1年 飯盛圭亮氏

#### 【特別講演会:(各テーマ15分間)】

##### (1) 霧島工業クラブ大賞

『電動アシストシルバーカー』 機械工学科4年 工藤紘己氏・釣崎孝祐氏

##### (2) 深山会大賞

『建築PBLによる地域創生への実践的取り組み』 建築学科5年 鈴木花恵氏

##### (3) 文化祭研究発表優秀賞

『高専作り替えてみた』 建築学科4年 酒井瑞月氏・前田煌生氏

・令和7年1月度例会では、都城工業高等専門学校物質工学科准教授の藤森崇夫先生に、一般財団法人「一樹工業技術奨励会」助成金に採択されました研究テーマ「高生分解性ホウ酸吸着ポリマーの開発」についてご講演いただきました。本テーマは、当クラブの会員企業でもあります日機装株式会社の創業者である故音 桂二郎氏が設立された一般財団法人「一樹工業技術奨励会」の2023年度の助成金交付の助成テーマに選考されたテーマですが、ご研究が未来の社会にどのように役に立つか、社会実装の観点からも分かりやすくご解説いただきました。

また、本テーマ以外の藤森先生の研究の事例紹介や、先生が日頃から研究を通して学生のキャリア教育（技術者としての心構え）について、心掛けておられることについてもご講演いただきました。今年度も、产学連携において、都城工業高等専門学校の研究シーズと企業の技術開発・商品開発ニーズのマッチングを図るべく、都城工業高等専門学校の先生方の研究内容を広くご紹介していく予定です。

③については、都城高専地域連携センターやキャリア支援室と連携し活動を行いました。

・令和6年度合同企業説明会共催

日時：令和6年11月13日（水）14:40～16:10（90分間）

場所：都城高専 第一体育館

例年、翌年インターンシップを迎える本科生3年生全員（160名）並びに翌年春より就活を開始する本科4年生及び専攻科生の参加希望者を合わせて計約200名を対象に都城高専と（一社）霧島工業クラブの共催にて合同企業説明会を開催していますが、令和6年度は令和5年度に引き続き、例年通り第一体育館に各企業のブースを設けて、学生が各企業のブースを訪問する形式で開催することができました。

学生が働くことやキャリアを考え、業界・企業の理解を深める為、人事担当者や先輩と面談をする機会として本説明会を開催し、企業研究のメリット等の理解を図ると共に、今後より一層多角的な視点からキャリアデザインを行うための情報提供を行う目的で開催されたのですが、高専出身者の受け入れ実績のある企業、または採用やインターンシップ受け入れ計画のある企業、合計40社が参加しました。

企業紹介パンフレットを作成し事前に学生に配布後、学生は特別活動の時間にローテーション表に従い、指定された各ブース番号の企業から説明を受けました。参加した学生は興味津々で真摯に企業の方々の説明を聞いていた様子がうかがえ、また、都城高専OB・OGも学生からの質問に対し丁寧に応えていたのが印象的でした。

・インターンシップへの協力

都城高専からの要請を受け、多くの会員企業が都城高専の本科生と専攻科生の学生を受

け入れインターンシップを実施しました。

- ・高専ロボコン九州沖縄地区大会出場マシンのお披露目会開催

高専ロボコン九州沖縄地区大会出場マシンのお披露目会が、霧島工業クラブの会員企業を招待して開催され、会員企業より多くの見学者がありました。

日時：令和6年10月4日（水）17：30～19：00

場所：都城高専 第一体育館

多くの会員企業の皆様に参加いただき、実物をご覧になりながら手に触れる事のできる対面式での開催となりました。各企業のエンジニアの方や高専OB・OGが学生の説明に熱心に聞き入っておられるのがとても印象的でした。また、ロボコン制作局の学生たちは、今年も、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響が残る中でのロボット制作は大変だったろうと思います。このお披露目会に向けて、地区大会出場マシンの調整を一生懸命頑張ってくれたと聞いていましたが、その成果をこのお披露目会で、十分に発揮できたのではないかと思います。

- ・第12回おもしろ科学フェスティバル後援

当クラブが後援する「第12回都城高専おもしろ科学フェスティバル」が、会員企業であるメタウォーター株式会社様、株式会社サニー・シーリング様、宮崎日機装株式会社様に実験ブースを出展していただき、9月15日（日）に都城高専にて開催されました。

今年度は、午前・午後の2部制での事前申し込み制（各子ども300名：事前申込満員）とし、大変盛況のうちにイベントを実施することができました。以下が参加者数です。

【参加者数】

午前：子ども279名、全体人数535名

午後：子ども252名、全体人数453名

合計：子ども531名、全体人数988名

（参考）R5年度・来場者数：計852名（子ども456名）

子どもたちも保護者の皆様も科学イベントを笑顔でとても楽しんでいただき、本イベントの様子は MRT 宮崎放送にて放送されました。

- ・新規卒業生やUターン希望者の就職受け入れ（特に、新型コロナウイルス感染拡大後Uターン希望者増加）

- ・令和6年度都城市企業立地推進ネットワーク会議

それぞれの専門分野の委員が一堂に会し、企業立地に係る貴重な意見交換を行う場として開催される企業立地推進ネットワーク会議が令和6年11月7日（木）に都城グリー

ンホテルにて開催され、下記の内容について意見交換しました。

- ・会則の改正について
- ・企業立地の現状及び取組み等について
- ・立地企業優遇制度について
- ・地域未来投資促進法について
- ・その他

④については、地域におけるプレゼンスをさらに高める為、会員企業70社を目指すことを目標としましたが、お陰様で、令和5年度より3社増え合計72社となりました。また、特別会員として、学校法人櫻美学園都城東高等学校に加入していただきました。

## 2 事業内容

### (1) 産学官連携による各種プロジェクトの推進に関する事業（定款第4条1）

令和6年12月度例会では、令和6年11月2日（土）に都城高専にて開催されました第4回都城高専地域交流・研究発表会において、優秀な研究発表をしました学生5名の表彰式を執り行いました。また、表彰式の後、受賞学生3名（霧島工業クラブ大賞・深山会大賞及び文化祭研究発表優秀賞）による特別講演会を開催しました。

### (2) 工業振興施策の推進及び提言・要望に関する事業（定款第4条2）

令和6年度都城圏域産学官金交流会を令和6年7月19日（金）に都城グリーンホテルにて開催しましたが、昨年に引き続き100名を超える関係者の皆さんにお申し込みをいただき、情報交換会には、企業31社から65名、学校16校から32名、官公庁他12団体から26名の合計123名の方にご出席いただきました。

情報交換会では、学校関係者の皆さんと宮崎県、都城市、商工会議所・商工会等の官公庁・行政関係者の皆さんとが、企業31社の企業テーブルをそれぞれ回っていただく方式とし、できるだけ多くの方々との交流を図るため、情報交換の時間は、1社当たり5分間程度とさせていただきました。また、その後に続いて開催されました懇親会においても活発な情報交換・意見交換がなされ大変盛り上がった交流会となりました。どの業界もウイズコロナ・アフターコロナで人手不足が叫ばれる中、今後共、この取り組みが今後の人手不足解消の一助となることが期待されます。

### (3) 各種講演会及び研修会に関する事業（定款第4条3）

#### 例会時特別講演

① 実施期日：令和6年6月19日（水）

演題：「結果が出る自治体経営」～ 都城フィロソフィを基軸として～

講師：都城市長 池田宣永氏

② 実施期日：令和6年9月24日（火）

演題：「東日本大震災復興と都城のまちづくり」

講師：都城市地域プロジェクトマネージャー 池田浩二氏

③ 実施期日：令和6年12月11日（水）

【霧島工業クラブ大賞】

・演題：『電動アシストシルバーカー』

講師：都城高専 機械工学科4年 工藤紘己氏・釣崎孝祐氏

【深山会大賞】

・演題：『建築PBLによる地域創生への実践的取り組み』

講師：都城高専 建築学科5年 鈴木花恵氏

【文化祭研究発表優秀賞】

・演題：『高専作り替えてみた』

講師：都城高専 建築学科4年 酒井瑞月氏・前田煌生氏

④ 実施期日：令和7年1月22日（水）

・演題：『高生分解性ホウ酸吸着ポリマーの開発』

講師：都城工業高等専門学校 物質工学科准教授 藤森崇夫先生

（4）会員企業見学会及び先進企業視察に関する事業（定款第4条4）

① 高専ロボコン九州沖縄地区大会出場マシンのお披露目会開催

期日：令和6年10月4日（水）17：30～19：00

場所：都城高専 第一体育館

内容：高専ロボコン九州大会出場実機の見学会

会員企業を招待して対面式にて開催

「ロボット及びメカトロに関する研究の奨学資金」目録贈呈

② 企業視察研修会

会員企業（誘致企業）3社の企業視察研修会を開催

期日：令和6年10月22日（火）9：00～17：00

・宮崎日機装（株）【宮崎市高岡町の宮崎ハイテク工業団地の立地企業】

宮崎日機装（株）は、産業用特殊ポンプやシステム製品、血液透析装置等

医療機器、炭素繊維強化プラスチック（CFRP）を縦横に駆使した航空機用部品等を主力事業とする日機装（株）のグループ会社として、2017年3月に宮崎市高岡町に設立されました。主な生産品目は、炭素繊維強化プラスチック(CFRP)製民間航空機部品、産業向け特殊ポンプ その他日機装グループ製品です。

・（株）松尾宮崎【都城インター工業団地穂満坊地区の立地企業】

（株）松尾宮崎は、愛知県の自動車部品メーカーである（株）松尾製作所のグループ会社として、2019年4月、都城市に設立されました。主に自動車品として使用される精密プレス品と精密樹脂インサート品といった精密製品を製造しています。プレス加工においては35t～200tのプレス機を有し、金属の板材を金型で打ち抜きや曲げ加工を施しています。樹脂インサート成形加工では自社加工の金属ターミナル部品を金型にはめ込み、20t～100tの樹脂成形機で成形しています。

・（株）九州コガネイ【都城インター工業団地桜木地区の立地企業】

自動化機器・省力化機器メーカーである（株）コガネイの関係会社で、1991年2月に設立されました。東京都小金井市、長野県駒ヶ根市に次ぐコガネイグループ国内第三の拠点として、中国（上海）、ベトナム（ホーチミン）の海外生産拠点とも連携して、コガネイの主力製品であるエアバルブ、センサスイッチ、電装製品等を製造しています。2024年5月9日より新社屋（本社）にて本格稼働されています。

（5）関係機関・団体との連携協調に関する事業（定款第4条5）

① （一社）宮崎県工業会 県西地区部会 通常総会及び懇親交流会

令和6年7月16日（火）都城グリーンホテルにて（一社）宮崎県工業会県西地区部会の通常総会及び懇親交流会が開催されました。

② 宮崎大学第31回技術・研究発表交流会

産学官金等各機関による連携事業の推進を目指すことを目的とし、毎年「技術・研究発表交流会」にて、地域交流講演会（宮崎県産学官連携コーディネート講演会、イノベーション共創プラットフォームセミナー）、宮崎県産業振興機構共同研究事業成果報告、ポスター展示、発表（ディスカッション）が開催されますが、令和6年度は9月13日に宮崎市民プラザにて開催されました。

③ 都城市企業立地推進ネットワーク会議

都城市の産業経済の活性化及び市民の雇用機会の拡大に向け、官民一体となった企業立地推進の取り組みとして、市の企業立地に関する PR 力及び企業立地に役立つ情報収集力の強化の為、行政、商工、農林業、学術研究、金融、インフラ等に携わる方々が参加し、企業立地の現状、取組、優遇制度の改正等について、意見交換を行いますが、令和6年度は11月7日（木）に都城グリーンホテルにて開催されました。

④ 宮崎県商工観光労働部との連携

宮崎県の商工業の活性化の為に、地場産業の振興や企業誘致を行い、物産や観光のあっせん、労使関係の安定を図ることや職業の紹介、訓練などを行う宮崎県商工観光労働部より6名様が令和6年5月24日に来訪され、当クラブの活動や都城高専との協力連携、また会員企業について説明しました。また、当クラブの活動とかかわりの深い商工政策課の企画調整担当や企業振興課の企業振興の工業・情報産業振興担当の方々と今後の産学官の連携・協力関係について意見交換しました。今後、さらなる産学官の連携強化を図っていくことを確認しました。

⑤ 都城工業高等専門学校・合同企業説明会

毎年、都城工業高等専門学校と当クラブが共催し、翌年インターンシップを迎える本科生3年生全員（160名）並びに4年生及び専攻科生の参加希望者を対象に、キャリア教育の一環として、都城工業高等専門学校の都城高専第一体育館にて合同企業説明会を開催していますが、令和6年度は11月13日（水）14:40～16:10（90分間）に開催され、会員企業40社が参加しました。

⑥ 都城工業高等専門学校・第12回おもしろ科学フェスティバル後援

都城工業高等専門学校が、小中学生を中心とした未来ある子どもたちに、科学のおもしろさを伝え、将来の日本の産業界を支えるための人材育成に寄与する目的で開催した「第12回おもしろ科学フェスティバル」を後援しました。

開催日時：令和6年9月15日（日）

場所：都城高専

来場者数：計852名

⑦ 令和6年度都城高専評議員会

都城工業高等専門学校の教育研究活動、地域貢献活動等運営に関する重要事項

について審議し、校長に対し助言を行うことを目的として設置されている評議員会に、毎年、評議員として当クラブ代表理事が参加し、都城工業高等専門学校では、評議員からの意見等を踏まえ、今後の教育研究や学校運営等に活かしていますが、令和6年度は、都城工業高等専門学校より開催見送りの通知がありました。

- ⑧ 令和6年度都城高専専攻科「創造デザイン演習」外部評価会への協力支援  
都城高専専攻科では、将来必要となる幅広い知識や技術力、創造力、開発全体を掌握できるマネジメント能力等を修得・育成させることを目的として、「創造デザイン演習」を開講していますが、本開講科目では、専攻の異なる学生がチームを編成し、与えられたテーマに沿って、これまで培ってきた各専門分野(機械・電気・物質・建築)における知識や技術力を生かし、社会実装を目指したモノづくり教育を行っています。その教育の一環として、製作物のアイデアや設計、試作品に関するプレゼンテーションについての外部評価会を2回に亘り開催しました。

実施期日：令和6年10月27日（水）

テーマ：「キャンプ」

実施期日：令和7年2月13日（木）

テーマ：「次世代」

場所：都城高専多目的ホール

外部評価員：株式会社坂田電機宮崎研究センター 課長 斎藤茂氏

- ⑨ 都城高専創立60周年記念事業への協力支援

都城高専は、昭和39年（1964年）の東京オリンピックの年に開校し、令和6年に創立60周年を迎えましたが、令和6年11月5日（火）に都城高専にて開催されました「都城高専創立60周年記念式典」に堀之内代表理事をはじめ会員企業が来賓として出席しました。また、当クラブとしましても、MJホールにて開催されました「DRUMTAO」の公演をはじめとする都城高専創立60周年記念事業へ寄付や各種イベント開催に向け協力支援させていただきました。

- （6）その他、この法人の目的を達成するために必要な事業（定款第4条6）

実施事業なし